

MG-ADLスケール

記入日	年 月 日		
担当医師名		患者名	

- 重症筋無力症(MG)では多彩な症状がみられるうえ、日内変動があり、外来診察だけで医師が患者さんの状態を正確に把握するのは困難な場合があります。
- 下の表は、MGの重症度を評価する「MG-ADLスケール」です。合計点数が高いほど重症ということになります。
- このスケールで症状を評価し、次回の受診日に主治医や看護師に伝えましょう。

自分の状態にあてはまる点数を記入ください。

	0点	1点	2点	3点	点数記入欄
会話	正常	間欠的に不明瞭 もしくは鼻声	常に不明瞭 もしくは鼻声、しかし 聞いて理解可能	聞いて理解する のが困難	
咀嚼	正常	固形物で疲労	柔らかい食物で疲労	経管栄養	
嚥下	正常	まれにむせる	頻回にむせるため、 食事の変更が必要	経管栄養	
呼吸	正常	体動時の息切れ	安静時の息切れ	人工呼吸を要する	
歯磨き・ 櫛使用の障害	なし	努力を要するが 休息を要しない	休息を要する	できない	
椅子からの 立ち上がり障害	なし	軽度、 時々腕を使う	中等度、 常に腕を使う	高度、 介助を要する	
複視	なし	あるが 毎日ではない	毎日起こるが 持続的でない	常にある	
眼瞼下垂	なし	あるが 毎日ではない	毎日起こるが 持続的でない	常にある	
合計(0~24点)					

「重症筋無力症診療ガイドライン」作成委員会編、重症筋無力症診療ガイドライン2014。東京：南江堂、2014。